

放射能汚染地域におけるシイタケ原木林の利用再開・再生

1. 主旨：

研究コンソーシアム「シイタケ再開共同研究機関」では、平成23年の福島第一原子力発電所の事故により放射性セシウムに汚染された地域において原木栽培シイタケ関連産業を再開するため、短期的目標として伐採可能な原木林及び汚染されたホダ木の判定技術、そして中長期的目標として樹木、主としてコナラの放射性セシウム吸収抑制技術の開発を進めています。このシンポジウムでは、当コンソーシアムの研究成果を紹介すると共に、成果から導き出された未解決課題についても紹介します。

2. 日時：平成30年12月6日（木） 13：15～17：00

3. 会場：三会堂ビル 9階（東京都港区赤坂1-9-13）

講演：石垣記念ホール、検査装置紹介：第2会議室

4. 参集範囲：一般公開 参加無料（事前登録制）

5. 日程

- 1) 開会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13:15～13:25
- 2) 本事業の目的と成果について（研究代表者 森林総合研究所 平出政和）・・・・・・・・13:25～13:40
- 3) 原木林の伐採前判定方法（栃木県林業センター 石川洋一）・・・・・・・・13:40～14:00
- 4) 汚染されたホダ木の判定方法
(仙台高等専門学校 加賀谷美佳、茨城県林業技術センター 山口晶子)・・14:00～14:20
休憩
- 5) 当年枝を使った原木使用部位の放射性セシウム濃度の推定（森林総合研究所 三浦覚）・・14:40～15:00
- 6) 放射性セシウムが降り積もった林地での原木生産（東京大学 益守眞也）・・・・・・・・15:00～15:20
- 7) 原木林へのカリ肥料の散布（茨城県林業技術センター 福田研介）・・・・・・・・15:20～15:40
- 8) 中長期的な原木林の生産再開に向けて（森林総合研究所 三浦覚）・・・・・・・・15:40～16:00
- 9) 総合質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16:00～16:20
- 10) 閉会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16:20～16:30
- 11) 検査装置紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16:30～17:00

参加登録は下記メールアドレス宛に所属及び氏名（ふりがな）を御連絡下さい。

e-mail : shiitakesaikai2018@ml.affrc.go.jp

なお、会場の都合により180名を超えましたら参加登録は締め切らせて頂きます。予めご了承下さい。

主催：シイタケ再開共同研究機関、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

本シンポジウムは、農研機構生研支援センター「平成30年度イノベーション創出強化研究推進事業」
「放射能汚染地域における原木生産林の利用再開・再生技術の開発（28028C）」の成果を取り纏めたものです。